

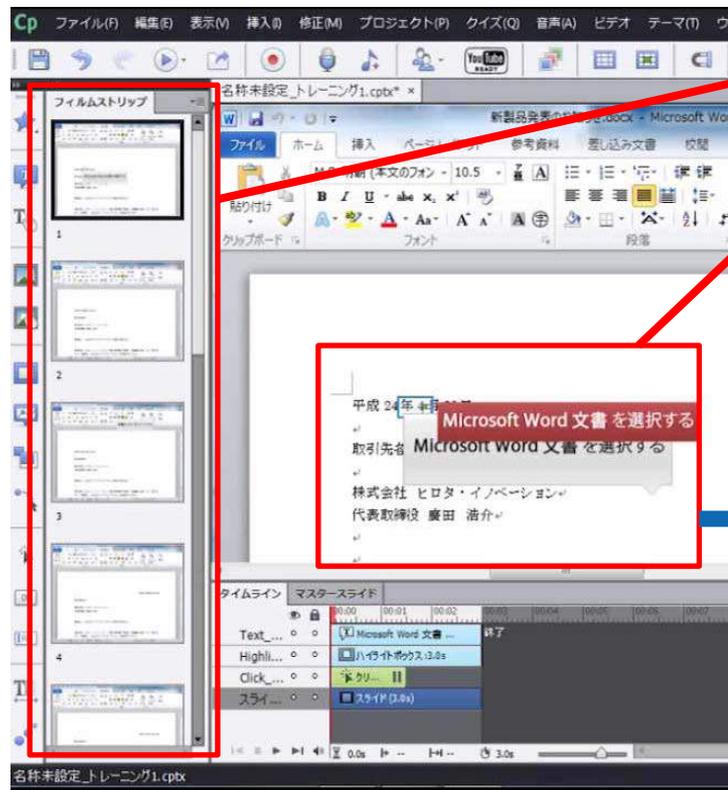
Adobe Captivate 6 による、 高い学習効果を持つ eラーニングコンテンツの作り方 (HTML5出力など)

スピーカー:アテイン株式会社 動学.tvグループ 主任 金 秀麗

Captivate 6 の特徴

1. 画面操作の経過がそのままデモやシミュレーションのコンテンツになる。
2. 発表PPTスライドなどをそのまま持ってこれる。
4. 様々なスタイルをオブジェクトに簡単に適用できるので、デザインセンスが不要。
5. 映像や音などが簡単に設置できる。
6. さまざまな質問形式のスライドが作れる。
7. SCORMのマニフェストが簡単に設定できる。
8. HTML5で出力できるので、モバイル対応できる。
9. 高い技術力が不要で、スピーディに低コストで制作できる。

容易なデモ、シミュレーションの作成



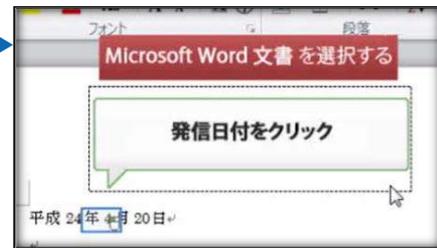
画面上で操作した内容が、操作毎にスライドとして記録される。

各スライドには、操作した内容に応じた、キャプションやハイライトが自動的に追加される。

追加されたオブジェクトに手を加えるだけで操作デモやシミュレーションコンテンツを、簡単に作成することができる。



用意されたデザインを適用し、レイアウト調整すれば、クオリティもアップ。



キャプション、クリックボックス、ハイライトボックスの役割



キャプション

何の操作をしているのか、次になにをすればよいのかなど、指示あるいは状況を知らせる。

ハイライトボックス

どこをクリックすればよいかを明確にしたい場合、あるいは注目してもらいたい場所に配置する。

クリックボックス

(画面ではハイライトボックス同じ位置にある)

この領域をクリックすることによって、次のスライドに進むなど、さまざまな設定ができる。また、クリックの代わりに、キーボードから何れかのキーが押されたかによっても、同様の設定が可能。

スライド操作によるストーリーの組み立て

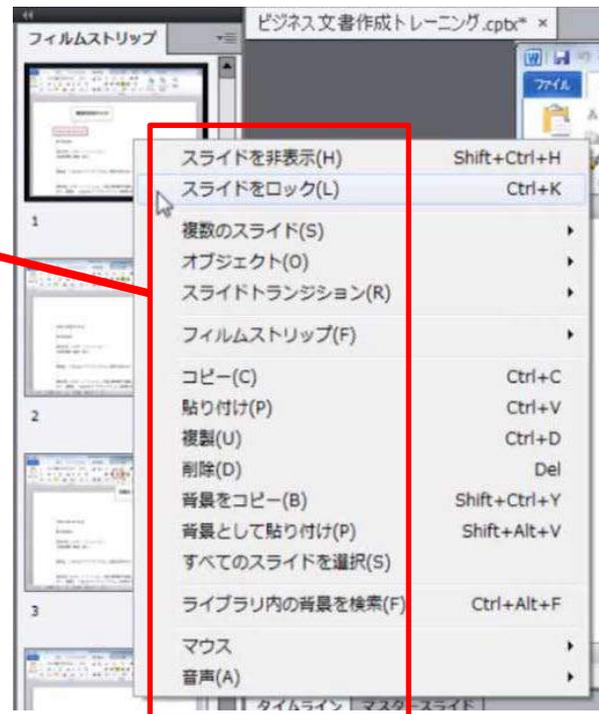
下記のような操作をして、全体的なストーリーを組み立てていく。



ドラッグ&ドロップによって順序を入れ替えることが可能。

ロックをしたり、非表示にしたり、右クリックからさまざまな操作ができる。

選択しているスライドの位置に、追加で記録をすることができる。



テキスト入力ボックスによるインタラクティブ性の向上

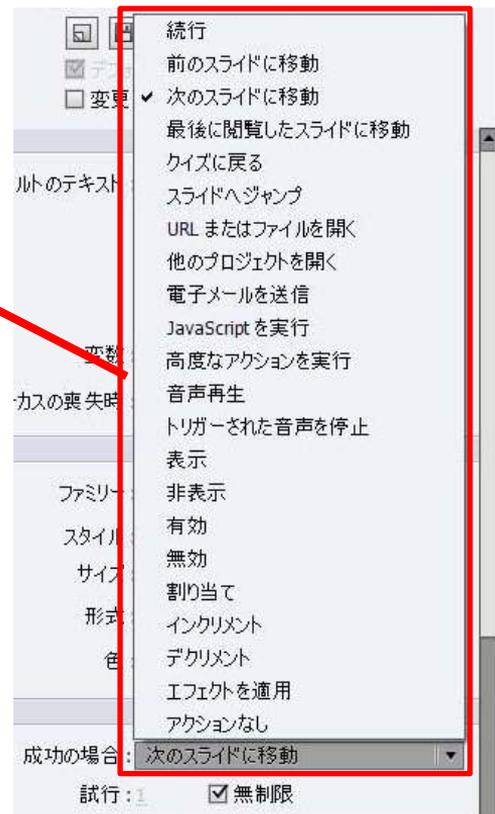
実際にキーボードから文字列を入力させる、コンテンツの制作が可能。



正しい入力をした場合に、どのようなアクションを起こすかを設定できる。特定のスライドにジャンプさせることもできるので、ストーリーの分岐も可能。



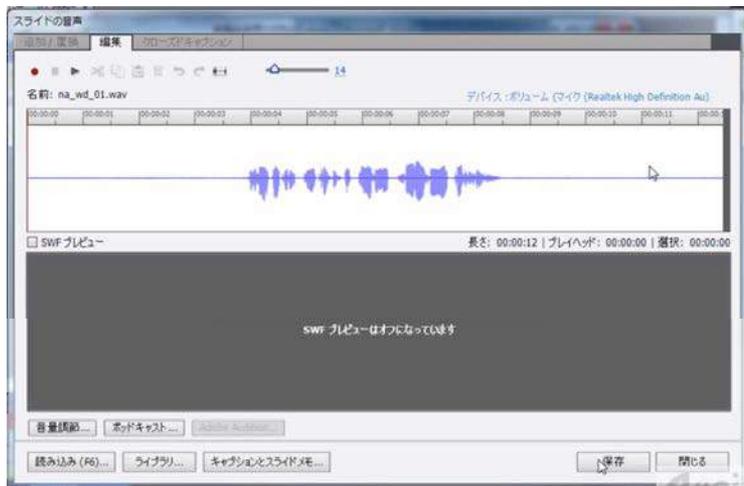
複数の回答を用意できる。例えば、半角と全角の入力をどちらでもOKとしたり、あるいは純粋に正解が複数ある場合に使う。



さらに学習内容を分かりやすくするための音とビデオの追加

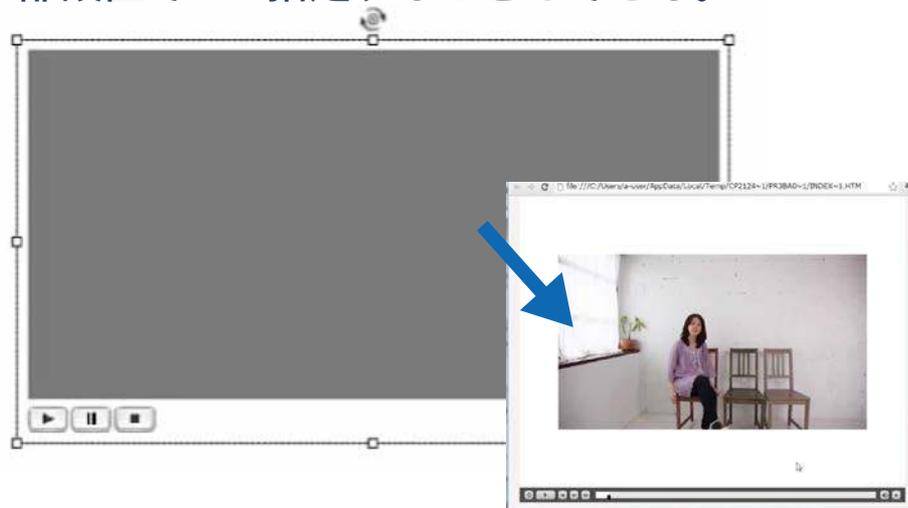
音の追加

音のファイルを読み込むと、その場で簡単なカット編集が可能。マイクが繋がっていれば、その場で追加収録ができる。



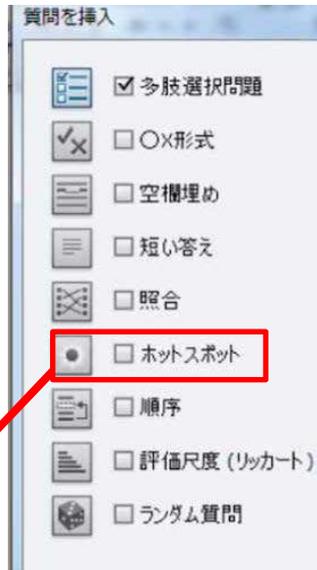
ビデオの追加

映像でなければ伝えられないことがあるでしょう。飽きさせずに、学習意欲を高める効果にも繋がる。映像ファイルは外部設置でURL指定することもできる。



さまざまな質問スライドとテスト結果の設定

このように、さまざまな出題形式を持っている。文章さえあれば、流し込んでレイアウト調整をするだけで出来る。

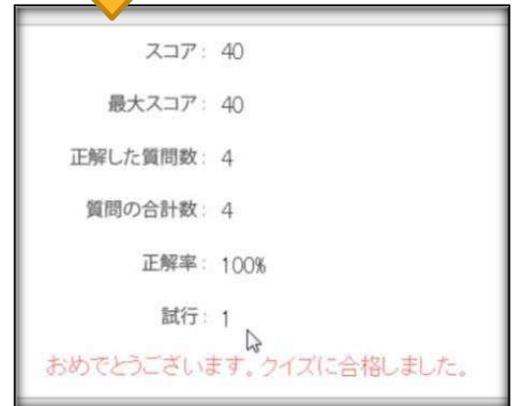


ホットスポット問題のみ、画像のなかから正解の場所を探してクリックする形式となっている。



質問に答えていき、最後には、結果表示をすることができる。

設定しておいた合否判定の条件によって、合否により様々なアクションを設定することもできる。
(不合格者は最初のスライドにジャンプなど)



モバイルに対応できるHTML5出力 (SCORM対応)

SCORMのマニフェストを Captivate 上で設定できる。

The screenshot shows the 'Manifest' dialog box in Captivate. It is divided into three sections: 'SCORMバージョン' (SCORM Version), 'コース' (Course), and 'SCO'.
- In the 'SCORMバージョン' section, 'SCORMバージョン: SCORM 2004' is selected, with radio buttons for '第2版', '第3版', and '第4版'.
- In the 'コース' section, '識別子' is 'Course_ID1', 'タイトル' is 'ビジネス文書トレーニング', and '説明' is 'ビジネス文書を作成するための、Wordの機能の活用方法を学ぶ'. The 'バージョン' is set to '1.0' with a '長さ' of '0:0:0' (hh:mm:ss).
- In the 'SCO' section, '識別子' is 'SCO_ID1' and 'タイトル' is 'ビジネス文書トレーニング: 書式設定編'.
Buttons for 'ヘルプ...', 'OK', and 'キャンセル' are at the bottom.

細かい合否・完了条件の設定画面。

The screenshot shows the 'Quiz' configuration dialog box. It includes several sections:
- 'クイズ' (Quiz): 'このプロジェクトの報告を有効にする' is checked. 'SCORM 2004' is selected in the dropdown, and '設定' is clicked.
- 'テンプレート': 'デフォルト' is selected in the dropdown.
- '完了条件' (Completion Conditions): 'スライドビューまたはクイズ' is selected. 'スライドビュー' is checked with '100%' and '0 スライド'. 'クイズ' is checked with 'クイズに参加しました'.
- '合格条件' (Passing Conditions): 'スライドビューまたはクイズ' is selected. 'クイズに合格しました' is checked.
- '報告するデータ' (Report Data): 'インタラクションデータ' is checked.
- 'LMS 初期化テキスト': 'ロードしています' is entered in the text field, and '詳細' is clicked.
- '検証済みの LMS': '[詳細はこちらをクリック]' is shown at the bottom.

HTML5を指定して書き出せば、モバイルでも利用可能。

The screenshot shows the '出力形式のオプション' (Output Format Options) dialog box. It has two main sections:
- '出力形式のオプション': 'SWF' is checked, and 'HTML5' is unchecked.
- '出力オプション': 'Zip ファイル' is checked, 'PDF を書き出し' is unchecked, and 'フルスクリーン' is unchecked.
At the bottom, there is a checkbox for 'スケーラブル HTML コンテンツ' (Scalable HTML Content).

デバイスのスクリーンサイズに応じて、表示サイズを自動調整してくれるオプションもある。

ありがとうございました。

スピーカー:アテイン株式会社 動学.tvグループ 主任 金 秀麗